

2026（令和8）年度
総合型選抜（10月1期）

総合文化学部

小 論 文

10時～11時

受験についての注意

試験開始の前に、以下の注意をよく読んでおくこと。

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないこと。
2. この冊子の問題本文は1ページである。試験開始後、問題を確認し、落丁・乱丁の箇所があるときは手をあげて交換を求めること。
3. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはシャープペンシルで記入すること。
4. 試験開始の前に、解答用紙の定められた位置に氏名、受験番号および領域名を記入すること。なお、国際文化領域志願者は専攻言語を○印で囲むこと。
5. 解答は解答用紙の指定された場所に記入すること。余白、裏面には何も書いてはならない。別に下書き用の用紙を配付するが、使用については自由である。
6. 筆記用具、受験票および課題図書以外のものは、かばん等に入れ、机の下に置くこと。
7. 試験時間中に無断で退場することはできない。
8. 終了の合図があったら、ただちに筆記用具を置き、解答用紙は表を上にして置くこと。この冊子（試験問題）および下書き用紙は持ち帰ってよい。

課題図書について、次の設問に答えよ。

※文化史領域志願者は、解答用紙の所定の欄に選択した課題図書名に○印をつけること

問 1 課題図書のなかで最も興味深かった章を取り上げ、その章の内容を、本書を読んだことがない人にもわかるように説明せよ。

(解答用紙の所定の欄に選んだ章の番号を記入すること。)

問 2 課題図書の全体的な内容を表すキーワードを2つ挙げ、そのキーワードを選んだ理由を説明せよ。(キーワードは、本文中の言葉を用いても、自分で考えてもよい。ただし、本書のタイトルおよび各章のタイトルに含まれている言葉は使わないこと。)